

令和3年度 第1回学校運営会議（外部委員）次第

日時：令和3年10月
実施方法：書面による開催

1 報 告

(1) 自己評価報告書について・・・・・・・・・・・・・資料1

(2) 今年度の新型コロナウイルス感染拡大防止対策について・・・資料2

(3) 令和4年度入学 学校説明会及び入学試験日程について
〔学校説明会等〕

（全6回開催） 6月26日（土）10時～・7月31日（土）10時～・13時30分～
8月28日（土）10時～・10月2日（土）10時～
10月30日（土）10時～
※個別説明を10月1日から実施。

〔オンライン学校説明会〕

（5回開催） 7月16日（金）18時30分～・8月20日（金）18時30分～
9月17日（金）18時30分～・10月15日（金）18時30分～
11月19日（金）18時30分～

〔入学試験〕

	出願期間	入学試験	合格発表	手続締切
特別入学試験	10/14(木)～27(水)	11/6(土)	11/12(金)	11/25(木)
一般入学試験Ⅰ	11/11(木)～24(水)	12/4(土)	12/10(金)	12/23(木)
一般入学試験Ⅱ	1/13(木)～26(水)	2/5(土)	2/10(木)	2/24(木)

(4) その他

【次回の予定】

日 時：令和4年2月10日（木）午後3時～

場 所：横浜市病院協会看護専門学校 4階 会議室

(1) 「自己評価報告書」について

資料1をご覧ください。

「自己評価報告書(概要)」は昨年度に引き続き、本校の教職員により実施した自己評価の結果をまとめたものです。

3ページに総括と課題をまとめさせていただきました。全体としては、「4」ポイント満点で、「3. 4」ポイントとなりましたのでほぼ適切という評価となりました。しかし、昨年度と比較すると、コロナ禍での1年間の学校運営において、オンライン授業や臨地実習施設の確保の難しさとともに、学生との対面が通常より少ないなど、他機関との交流や連携が思うようにできなかったことなどにより、「0. 1」ポイント評価が下がりました。

15 ページに各項目の昨年度との比較を掲載しました。

昨年度より低い評価となった項目としては、「35 課外活動に対する支援体制を整備しているか」「保護者との連携体制を構築しているか」「学外実習、インターシップ等の実施体制を整備しているか」など、コロナ禍でできなくなっている対外的な取組となっています。

その中で、昨年度より評価を上げたのは、「11 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか」「22 資格・要件を備えた教員を確保しているか」「27 卒業生の社会的評価を把握しているか」となっています。IT 化については、コロナ禍だけではなく将来を見据えて取組むべきとのご意見もいただけており、神奈川県からの補助を導入するなどにより、オンラインでの授業環境を整えました。

新カリキュラムへの改正については、令和4年4月施行を予定しており、あらたな取組み(第2回に報告予定です。)を実施していくための準備を進めています。

報告書をご覧くださいまして、ご意見をいただければと思います。

(2) 今年度の新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

資料2をご覧ください。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、取組んでいる内容を記載しました。

昨年度のように、学校を閉校した期間はありませんが、校内や学生間での感染拡大が起らないために、学生に健康チェックと行動の継続的記録とともに、体調がすぐれなかった場合の対応を徹底しました。

新型コロナウイルスに感染した学生が数名いますが、家庭内感染等が主で、校内での感染拡大は起こっていない状況です。

委員の皆様は、厳しい状況下において、実践的な取組をされていると思います。臨地実習に限らず、ご意見をいただければと思います。

(3) 令和4年度入学 学校説明会及び入学試験日程について

次第に記載している日程で、来年度の入学予定者に向けた、学校説明会、オンライン学校説明会を実施し、入学試験を行います。入学試験日は、コロナ禍で2週間遅くした昨年度と同時期に予定しています。

昨年度の出願者数 185 人を上回る受験生を確保できるよう、今年も学校訪問による説明や本校での学校説明会、オンライン学校説明会とともに、緊急事態宣言が解除された 10 月から、平日の9時から5時の間に個別説明を行っています。

看護師になることを目指す人への取組み等、ご意見をいただければと思います。

令和2年度

自己評価報告書

(概要)

令和3年4月

横浜市病院協会看護専門学校

I 学校の現況

本校は、横浜市内の約80%の病院が加盟する、公益社団法人横浜市病院協会が、平成7年4月に横浜の医療ニーズに対応できる質の高い看護師を育てるために設立した3年課程の看護専門学校です。

高度医療に対応した知識・技術の獲得と豊かな人間性を育むことを大切に、26年間で1,600人以上の優秀な人材を横浜市内を中心とした医療現場に送り出しています。

教育課程の3分の1を占める臨地実習は、横浜市内の高度救命救急センター等高水準の医療・看護を実践している病院や、地域において中核的な役割を担っている病院、在宅医療を支える訪問看護ステーションなど充実した施設に恵まれています。

1学年80名 2クラスで、総数240名となっています。最近5か年の看護師国家試験合格率は94%を超え、卒業生の90%以上が横浜市内の病院に就職しています。

II 基本方針

(1) 教育理念

地域ニーズに対応し、地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献することはもとより、人との関わりを大切に、あらゆる人々の健康と幸福のために援助できる豊かな人間性と、行動力を備えた看護師を育成します。

(2) 教育目標

- 1 「生命の尊さ」が認識でき、医療における倫理観を身につけて行動できる能力を培う。
- 2 安全・安心な看護実践のための、根拠となる基礎知識、施術、態度を培う。
- 3 社会の動向に関心をもち、自分の考えを表現する能力を培う。
- 4 多様な価値観を認め、相互の関わりの中で自己を知り、円滑なコミュニケーションを通じて人間関係を築く能力を培う。
- 5 医療チームの一員として看護職の役割と責任を自覚し、看護の専門性を発揮するとともに他職種と協働できる能力を培う。
- 6 看護専門職としての資質向上を図るため、継続して自己研鑽する態度を培う。

(3) 本校が求める学生像

- 1 人に対する関心や思いやりを有している人。
- 2 他者との人間関係を築くための基礎的なコミュニケーション能力を有している人。
- 3 看護を学ぶための基礎学力をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢・能力を有している人。
- 4 看護職として、横浜市の保健・医療・福祉に貢献したいという意志を有している人。

III 自己評価について

- 1 実施時期 令和3年3～4月
- 2 実施対象 教職員 24名（教員19名 事務職員等 5名）

3 実施内容

「学校評価ハンドブック（専門学校等評価基準ver.4.0）」による
（特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構）

<大項目>

- 1 教育理念・目標・育成人材像
- 2 学校運営
- 3 教育活動
- 4 学修成果
- 5 学生支援
- 6 教育環境
- 7 学生の募集と受入れ
- 8 財務
- 9 法令等の遵守
- 10 社会貢献・地域貢献

IV 自己評価結果(評価基準:不適切・・・1、やや不適切・・・2、ほぼ適切・・・3、適切・・・4)

【経過】

平成16年に文部科学省によって専修学校設置基準等が改正され、自己点検・自己評価を行い、その結果を公表する努力義務が課せられました。

そこで、本校においては、校内に「自己点検・自己評価委員会」を立ち上げ、17年に学生を、18年に教職員を対象にアンケートを実施し、教育目的・教育目標にそった教育活動がなされているか、点検・評価を試みました。

20年3月に「看護教育自己評価指針」を基に本校独自の調査項目を設定し、点検・評価を行いました。

23年3月に「看護師養成所の運営に関する指導要領の一部改正」により、自己評価が義務化されました。本校は、23・24年に評価委員会組織を再編し点検・評価に取り組み、その成果として第三次報告として「学校評価報告書 第1号」を25年5月に刊行しました。

第四次報告から明らかにされた改善点を意識して取り組みを重ねて、検討組織を「学校評価委員会」に改名し、点検・評価活動の成果として、第五次報告として「学校評価報告書 第2号」を29年7月に刊行しました。

そして、令和2年度に、外部委員を招いての「学校関係者評価委員会」をあらたに開催し、自己点検・自己評価に基づき検討を行っていただき「令和2年度 自己評価報告書」をまとめ公表しました。今年度も昨年度と同様に、自己点検・自己評価を実施し、外部委員からのご意見をいただき、適正な学校運営を図るものです。

【総括と課題】

令和2年度より「高等教育の修学支援新制度」の対象校となることを機に、自己点検・自己評価の項目を見直し、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構「学校評価ハンドブック 専門学校等評価基準Ver.4.0」により、小項目65項目のうち本校に該当する小項目62項目(大項目10項目、中項目37項目)について点検・評価を実施しました。

総合評価は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、思うような授業や取組ができなかったことを反映して、昨年度から0.1下がりました。しかし、平均は「3.4」であり、ほぼ適切に運営できていると評価できます。

昨年度からプラスの評価になった「学修成果」では、2年度卒業の国家試験合格率が98.5%

(前年度94.4%)であり、前年度惜しくも合格できなかった既卒者全員が合格したことが評価につながったと考えます。

「学生の募集と受入れ」については、26校への学校訪問、コロナ禍のため、参加人数に制限を設け、規模を縮小して実施した、2回の学校説明会&オープンキャンパス、3回の学校説明会で210人の参加をいただくとともに、平日個別の学校説明を実施し、70人の参加をいただきました。また、初の試みでありましたが、オンラインによる学校説明会を金曜日の18時30分から3回開催し、73人のご参加をいただきました。

募集人員80人に対して、特別入試に129人、一般入試Ⅰ期に56人の受験応募があり、一般入試Ⅱ期を実施せず、定員に達した状況となりました。

一方、昨年度評価が高くなかった、情報システム化への取組については、令和2年度に神奈川県補助等を活用して、オンラインによる授業の実施等への環境整備を進めました。

なお、今年度の評価で「3」ポイントを下回る評価となった、「課外活動に対する支援体制の整備」「学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献」については、コロナ禍において、活動に制限をせざるを得ない状況によるものと考えます。

大項目	3年度	2年度	差引
教育理念・目的・育成人材像	3.4	3.5	△ 0.1
学校運営	3.3	3.3	0.0
教育活動	3.5	3.6	△ 0.1
学修成果	3.6	3.5	0.1
学生支援	3.3	3.5	△ 0.2
教育環境	3.4	3.4	0.0
学生の募集と受入れ	3.7	3.6	0.1
財務	3.4	3.4	0.0
法令等の遵守	3.3	3.4	△ 0.1
社会貢献・地域貢献	3.1	3.2	△ 0.1
計	3.4	3.5	△ 0.1

【今後の改善方策】

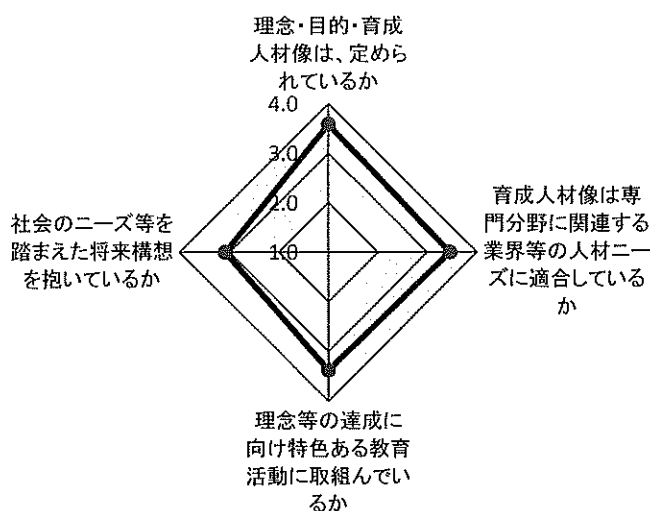
コロナ禍において、臨地実習を含め授業や活動など、学校運営で制限されることが多くあり、学生への支援や社会貢献・地域貢献が「3」ポイントを下回る評価となりました。しかし、このような状況であっても、コロナ禍の解消を待たずとも改善すべき点を洗い出し、見直しに向けた検討を行うことは可能と思います。改善の要素は、コロナ禍で評価が低くなった項目や、他項目より低い評価となっている項目にあると考えられることから、検討を行います。

「社会のニーズ等を踏まえた将来構想」は評価が下がりました。「情報システム化」については、昨年度より評価は上がりましたが、まだまだ充実する必要があります。「キャリア教育の実施」「作品及び技術の発表の成果」「卒業生への支援体制」については、ほぼ適切との評価になっていますが、昨年度から評価を下げていることから、分析が必要と考えます。「課外活動への支援体制」「社会貢献・地域貢献」については、ほぼ適切な「3」を下回り、コロナ禍が明け、対外的な交流が可能になった時、直ぐに活動できるようにしておくことが必要であり、令和4年度から施行されるカリキュラム改正等と連動しながら進めることが重要と考えます。

1 教育理念・目標・育成人材像

【総括と課題】

教育理念・教育目標については、本校設立当初から設定し、毎年度、事業計画を策定し周知を図っています。各小項目ともに、ほぼ適切との評価を得ていますが、社会のニーズを踏まえた将来構想については、中期的将来構想を策定していないことが課題と考えます。



【本校が実施している内容】

・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学校案内」「学生便覧」「学習要綱」等で明文化し、周知を図っています。

・専門分野に関連する業界等の人材ニーズへの適合については、市内の約8割にあたる105病院により組織している法人が運営する看護専門学校が強みを生かして、法人の理事会等の意思決定を受けて人材の養成を実施しています。

【今後の改善方策】

社会のニーズ等を踏まえた将来構想については、令和4年度から適用されるカリキュラム改正により、「教育目標」の見直しを行います。将来的には、中期的(3～5年)の将来構想を策定するなどにより、より明確な将来構想をまとめる必要があると思います。

中項目	小項目(指標)	評価
理念・目的・育成人材像	1 理念・目的・人材育成像は定められているか	3.6
	2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.5
	3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.4
	4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.1
平 均		3.4

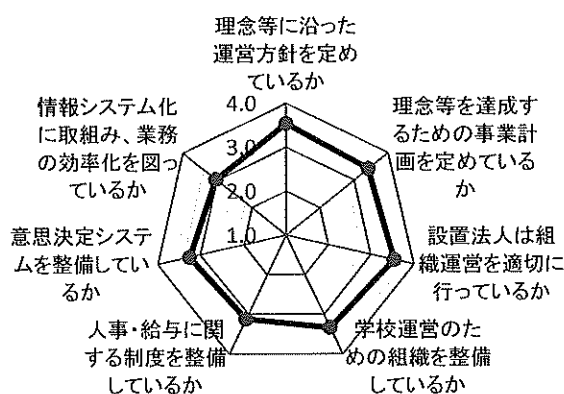
2 学校運営

【総括と課題】

理念に沿った方針を「学生便覧」「学習要綱」で明確にし、公表し周知を図るとともに、学校運営に必要な各種規則、規程を制定しています。また、適正な学校運営を図るために、意思決定に必要な会議を定例で開催しています。

昨年度、「3」ポイントを下回った、情報システム化については、神奈川県補助を活用しIT環境を整備しました。

引き続き、安定したネットワーク環境等を確保するために、整備を進める必要があります。



【本校が実施している内容】

・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化し、周知を図っています。

・毎月、学校運営会議、職員会議等を開催し、学校の運営等に関する事項を協議、決定しています。また、重要案件については、運営法人の理事会で協議し、意思決定を行っています。

・規則、規程については、整備されています。また、就業規則を令和2年4月改正するなど、定期的に見直しを行っています。

・情報システム化への取組については、学生への情報提供はGoogle Classroomを活用し、オンラインによる学校説明会や授業の実施を行うために、関連するIT環境の整備を行いました。

【今後の改善方策】

学校運営に関する全体的な評価は、昨年度と同様となっています。

情報システム化の取組については、今後も、学生の効率的な学習を行うために進めていきます。

来年度に向けて、タブレット端末を利用したデジタル教科書の導入を検討しており、合わせて、校内のWi-Fi環境の整備等を検討していきます。

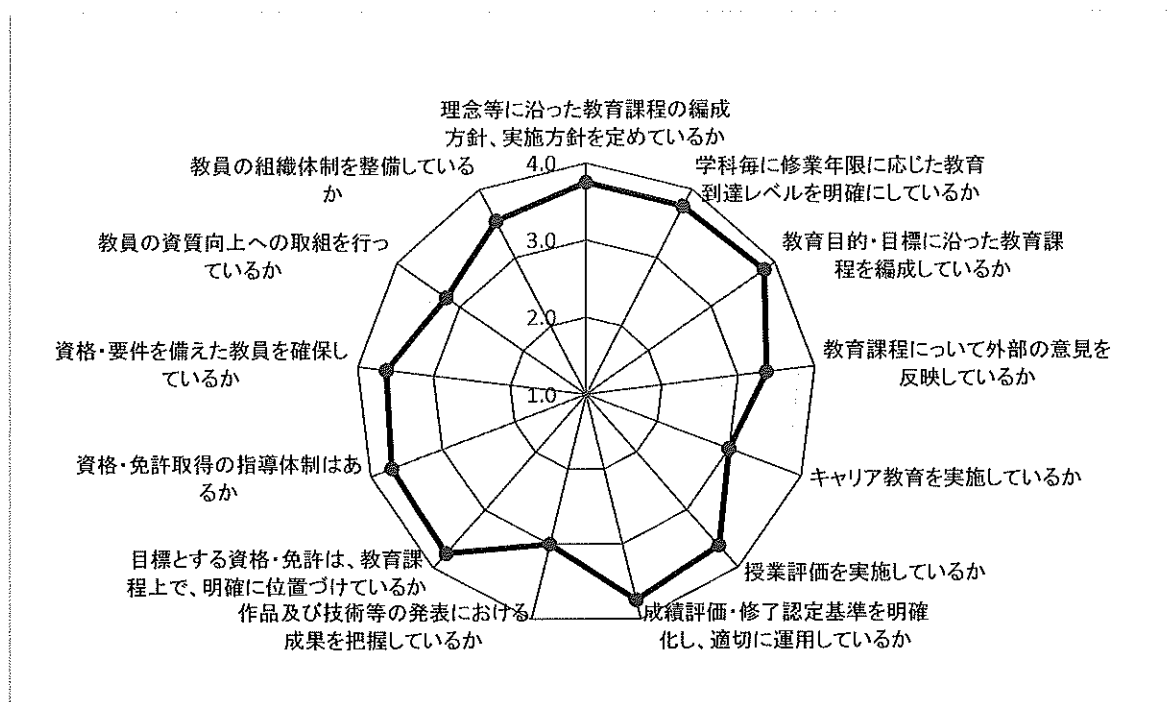
人事・給与制度については、長い間見直しを行っていないことから、社会状況を踏まえた制度への改正に向けた検討が必要となっています。

中項目	小項目(指標)		評価
運営方針	5	理念等に沿った運営方針を定めているか	3.5
事業計画	6	理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
運営組織	7	設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.5
	8	学校運営のための組織を整備しているか	3.3
人事・給与制度	9	人事・給与に関する制度を整備しているか	3.1
意思決定システム	10	意思決定システムを整備しているか	3.3
情報システム	11	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	3.0
平 均			3.3

3 教育活動

【総括と課題】

教育目標の到達を目指して、カリキュラムについては概ねシラバス通り行われています。また、教員は全員、看護師等としての臨床経験を有するとともに、資格取得及び研修修了者であり、教育活動全般に、高い評価を得ています。しかし、その中で、「キャリア教育の実施」「作品及び技術等の発表における成果の把握」については、「3」の評価であり、取組みについて検討する必要があります。



【本校が実施している内容】

・看護専門職と看護教育の考え方、教育課程の編成方針、実施方針を明文化しています。

・学科毎にねらい、学習目標・学習内容・方法をシラバスで明確にし、評価指標やルーブリック評価等による教育達成レベルの明示に努めています。

・国家試験出題基準の動向に対応する教育課程、授業計画を策定して臨んでいます。

・教育課程についての外部からの意見は、卒業生アンケート調査の実施やコロナ禍以前には、同窓会時における意見聴取を行っていました。

・キャリア教育については、進路ガイダンスを行い、キャリアアップの仕方を説明するほか、コロナ禍の前では、「ようこそ先輩」を開催することで学生にわかりやすく伝えています。

・講義・学習終了後の学生アンケートを実施し、その結果を担当教員にフィードバックして授業の改善に活用しています。

【今後の改善方策】

令和4年度のカリキュラム改正に向けて、校内で検討を行っていますが、看護を取り巻く時代の変化に対応できる見直しになるよう検討を進めます。

本校は社会人経験者の学生が多い学校であり、学習に対する意志・意欲が高い学生が多い一方、高校新卒で過密な3年間のカリキュラムの中で苦しむ学生もいることから、支援のあり方も検討していく必要があります。

中 項 目	小 項 目 (指 標)		評価
目標の設定	12	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
	13	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8
教育方法・評価等	14	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8
	15	教育課程について外部の意見を反映しているか	3.4
	16	キャリア教育を実施しているか	3.0
	17	授業評価を実施しているか	3.6
成績評価・単位認定等	18	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
	19	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.0
資格・免許の取得の指導体制	20	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.8
	21	資格・免許取得の指導体制はあるか	3.7
教員・教員組織	22	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.6
	23	教員の資質向上への取組を行っているか	3.2
	24	教員の組織体制を整備しているか	3.5
平 均			3.5

4 学修成果

【総括と課題】

学修成果については、昨年度の「3.5」から、0.1ポイント上がって「3.6」と評価されました。本校の卒業生は国家試験合格率は、令和2年度において98.5%で、毎年94%以上となっています。また、既卒者の国家試験合格率は100%となっています。国家資格の取得に向けては、個別の対応も実施しており、高い評価を得ています。

【本校が実施している内容】

・市内の105病院で組織されている法人が運営している看護専門学校として、卒業生の就職率は

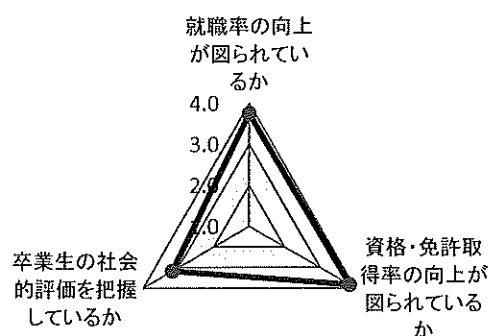
100%で、約90%の学生が市内の病院に就職しています。

・卒業後3年間の動向調査を実施しました。

【今後の改善方策】

国家資格取得については、引き続き個別支援等必要な対応を行い、確実に合格する取り組みを継続します。

卒業時に、それぞれ教育目標の達成度に関する評価を実施し、その結果を教育活動にフィードバックします。また、卒業生の実態把握する方法を再検討し、教育活動改善に向けて活用します。



中項目	小項目(指標)		評価
就職率	25	就職率の向上が図られているか	3.8
資格・免許の取得率	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8
卒業生の社会的評価	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.2
平均			3.6

5 学生支援

【総括と課題】

学生支援については、昨年度から0.2ポイント下がって、「3.3」の評価となりました。

「就職等の進路」「学生相談」は昨年度と変わりませんでしたが、学生生活については、「課外活動に対する支援体制の整備」が0.5ポイント下がって、「3」との評価になりました。コロナ禍において、課外活動については一切できる状況ではなかったことから、コロナ禍の終息を待つ必要があります。また、その他の学校生活への支援においては、日本学生支援機構が実施した、コロナ禍において、アルバイトの収入が激減した学生への支援を取り入れました。生活環境支援体制については、寮を横浜市立の病院と提携して利用できるようにしていますが、「2.8」の評価で、全評価の中で最も低い評価となりました。また、保護者との連携については、後援会総会を書面により開催するなど、コロナ禍で直接的な連携体制を築くことができませんでした。

【本校が実施している内容】

- ・学生生活や学習活動に悩む学生へは、個別の相談、指導を実施していますが、退学者は令和2年度は5人2.1%(令和元年度は10人 4.3%)であり、半減しました。
- ・学生相談については、専門のカウンセラーを配置しており年間約100件の相談に対応しています。
- ・学生生活に関しては、病院協会独自の奨学金制度を実施しているほか、高等教育の修学支援新制度や専門実践教育給付金制度など引き続き対象なるよう申請を行っています。
- ・部活動は、ボランティア部、茶道部、バトミントン部、フットサル部がありますが、コロナ禍において、活動を中止しています。
- ・学生寮に関しては、病院協会独自の奨学金を受けた場合、該当病院の寮が利用できることや、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター職員宿舎が利用可能となっています。
- ・保護者との連携については、学校後援会を組織し、学校と連携協力し、学生生活を支援しています。ただし、コロナ禍において、入学式、戴帽式後の貴重な機会である保護者会が開催できずにいます。
- ・卒業生等が利用できるように、図書館の利用時間を拡大しています。ただし、コロナ禍で緊急事態宣言が発令された期間においては、利用時間を短縮しました。

【今後の改善方策】

生活、修学上で困ったことなど自由に相談できるようにするとともに、退学、単位未修得者の減少に向けて初年度の学生指導を強化します。入学直後の基礎力リサーチや面接等により学生が主体性を発揮しながら学習に取り組めるように今後も継続して個別指導にあたります。

中 項 目	小 項 目 (指 標)		評価
就職等進路	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.5
中途退学への対応	29	退学率の低減が図られているか	3.3
学生相談	30	学生相談に関する体制を整備しているか	3.7
学生生活	31	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.5
	32	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.7
	33	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.8
	34	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.0
保護者との連携	35	保護者との連携体制を構築しているか	3.2
卒業生・社会人	36	卒業生への支援体制を整備しているか	3.0
	37	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.3
平 均			3.3

6 教育環境

【総括と課題】

教育環境については、昨年度と同様「3. 4」の評価となっています。

施設等については、バリアフリーの基本設計とともに、休憩スペースの配置や約18,000冊を収納している図書室とともに、日常清掃が行き届いている室内は、明るく清潔な状態となっています。しかし、26年間計画的な保全を実施していない設備については、緊急対応的な修繕を度々行う必要がでてきていることから、令和3年度に横浜市からの補助により、施設・設備の老朽化調査と長期保全計画の策定を予定しています。今後は、策定した計画に基づいて、保守点検、修繕及び更新を実施できる体制を確保する必要があります。

安全対策については、コロナ禍なので、規模を縮小して防火・防災訓練を実施しました。

【本校が実施している内容】

- ・看護専門学校の設置基準に適合して整備しています。基本的には、校内はバリアフリー対応となっています。
- ・図書は18,000冊の蔵書があり、毎年、希望調査を行い配架しています。
- ・情報科学室のパソコンは平成29年度に更新し、常に学生が使える状態にあります。
- ・学外実習は教育計画に基づいて実施しています。
- ・学生の安全を確保するために、看護学生補償制度に加入しています。
- ・防火・防災については、「防火・防災管理規定」により、自衛消防組織を設置し、訓練を実施しています。

【今後の改善方策】

令和3年度に実施する、老朽化調査及び長期保全計画をもとに、適切な教育環境を提供していく取り組みを行います。

また、災害時への対応として、啓発を行うとともに訓練を実施し、常に適切な対応ができるようにします。

中項目	小項目(指標)	評価
施設・設備等	38 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.3
学外実習・インターンシップ等	39 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.2
防災・安全管理	40 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.5
	41 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.5
平均		3.4

7 学生の募集と受入れ

【総括と課題】

学生の募集と受入については、昨年度より0.1ポイント上がって「3.7」で、ほぼ適正と評価されました。

令和3年度入学者の入試については、特別入試と一般入試Ⅰ期で定員に合格者が達したため、一般入試Ⅱ期は実施しませんでした。

それでも、例年と同様に約2倍の受験倍率となりました。

コロナ禍で多くの参加者を集めての学校説明会の開催は難しく、三密を避け、感染対策を徹底し、人数を制限して実施しました。また、例年になく、平日、70名に個別説明を行いました。

【本校が実施している内容】

・学生募集に向けた、高等学校及び社会人等への情報提供とともに、数回にわたる学校説明会、個別説明、また、教職員のみではなく学生の協力も得てオープンキャンパスを実施しました。

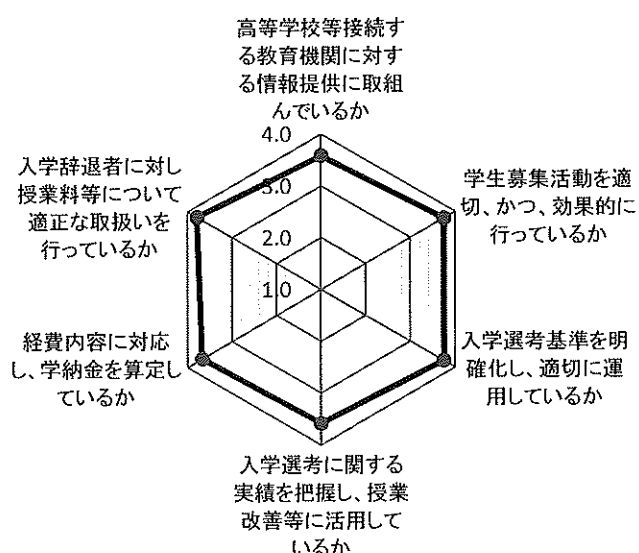
・入学選考に関しては、構造化面接と面接時間の均一化を図ることで、公平性を保ち適性を判断しています。

・令和元年度に実施した試験から受験科目を、英語から数学に変更するなど見直しを実施しました。

・授業料、入学金等の学納金は、設立当初から安価となっています。

【今後の改善方策】

少子化に加え、看護系大学の新設等、受験生の確保が難しくなっている中で、様々な機会を捉え、国家試験の合格率の高さや本校の設立法人に横浜市内の多くの病院が加盟していることなど、特色を活かしたうえで、個々の受験生に寄り添った募集活動を継続して行っています。



中項目	小項目(指標)		評価
学生募集活動	42	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.6
	43	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.8
入学選考	44	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
	45	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.6
学納金	46	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.7
	47	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.8
平 均			3.7

8 財務

【総括と課題】

学校の財務に関しては、横浜市病院協会の財務とは別に、単独で運用しています。毎年度、決算報告を公表していますが、単年度の収支では赤字にはなっていないものの、減価償却分の対応が図られていないことから正味財産増減計算書ではマイナスとなっています。そこで、令和3年度に、「学校環境整備積立預金取扱規程」を制定し、将来的な施設・設備等の修繕・更新に向けた対策を始めました。

学校の財務について、教職員全員が共通の理解をもって評価するのは難しいことありますが、昨年度と同様の「3. 4」の評価となりました。

【本校が実施している内容】

- ・人件費を中心に公的補助により、安定した運営を行っています。
- ・毎年度、予算、決算を作成しています。事業報告とともに、決算について公表しています。
- ・毎年度、法人、横浜市による監査を実施しています。

【今後の改善方策】

少子化が進む中で、看護師志望の学生から選ばれる学校創りを行い、定員の学生を引き続き確保する取り組みを行います。

26年を超えた施設・設備等の修繕・更新に向けた計画的対策を実施するために、確実に財源確保を図る必要があります。また、コロナ対策は無論、新カリキュラムへの取り組み、IT環境の整備等を進めるためにも、執行経費の適正化とともに財源を確保する必要があります。

中項目	小項目(指標)		評価
財務基盤	48	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.4
	49	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.1
予算・収支計画	50	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.3
	51	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.3
監査	52	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.6
財務情報の公開	53	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.5
平 均			3.4

9 法令等の遵守

【総括と課題】

法令等の遵守については、昨年度から0.1ポイント下がって「3.3」の評価となりました。しかし、令和2年度には、多くの新しい取組みを実施しました。

まずは、外部委員をお招きした「学校関係者評価委員会」と「学校運営会議」を開催し、学校運営について忌憚ないご意見をいただきました。コロナ禍においての学校運営に多くのご意見をいただき、臨地実習の施設であるとともに、ほとんどの学生が卒業後の職場となる、病院等の実践的対応を知ることができ、良い時期に委員会を開催することができたと思っています。

また、学校関係者評価等の校内検討において、個人情報の保護について、就業規則で規程しているのみではなく、明確な基準を示すために、「個人情報保護規程」を制定しました。

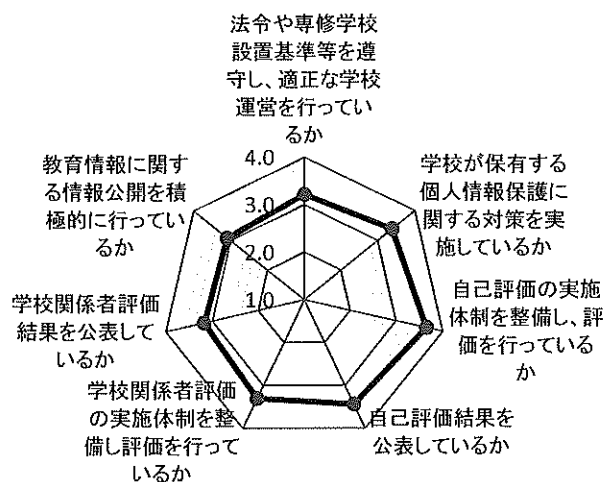
評価が下がったことについては、これらの取組みを教職員間で共有し、実践的に活用していくことが必要と考えます。

【本校が実施している内容】

- ・適正な学校運営を行うために、学則及び規程(21項目)を整備しています。
- ・個人情報については、就業規則第17
- ・18条に規程するとともに、「個人情報保護規程」を令和2年度に制定しました。
- ・令和2年度から外部委員にご参加いただいた、学校関係者評価委員会を開催し、結果を公表しています。

【今後の改善方策】

令和2年度から開始した、外部委員を招いての、「学校関係者評価委員会」及び「学校運営会議」を引き続き開催することで、法令等の遵守は無論、学生にとって学びやすい環境を整えていきます。



中項目	小項目(指標)	評価
関係法令、設置基準等の遵守	54 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.2
個人情報保護	55 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.4
学校評価	56 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.7
	57 自己評価結果を公表しているか	3.4
	58 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.3
	59 学校関係者評価結果を公表しているか	3.2
教育情報の公開	60 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.1
平均		3.3

10 社会貢献・地域貢献

【総括と課題】

社会貢献・地域貢献については、コロナ禍において、地域等と一切の交流が行えなかったことから、実質的な活動はできませんでした。

ただし、新カリキュラム改正に向けて、地域共生社会を意識した活動につなげられるように、区社会福祉協議会への加入や隣接の地域包括支援センターから近隣地域の情報を得るなど、実際の活動が可能になった際に、直ぐ動き出せる準備を進めました。

【本校が実施している内容】

・令和2年度は実施できませんでしたが、例年、横浜マラソン、港南区福祉相談会、港南区災害医療合同訓練等に、ボランティアとして参加しています。

【今後の改善方策】

第4期地域福祉保健活動計画や港南区福祉ネットワーク事業などとともに、地域の情報を収集し、学校として地域福祉保健活動への取り組みを検討し、関係機関と調整していきます。

中 項 目	小 項 目 (指 標)		評価
社会貢献・地域貢献	61	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0
ボランティア活動	62	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.2
平 均			3.1

横浜市病院協会看護専門学校 自己点検・自己評価評価項目

※ 評価規準：不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切4

R3. 02

大項目	中項目	小項目(指標)	全体		
			小項目ave	大項目ave	中項目ave
I 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像	1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.6	3.4	3.4
		2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.5		
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.4		
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.1		
II 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.5	3.3	3.5
		6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4		
	事業計画	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.5		3.4
		8 学校運営のための組織を整備しているか	3.3		
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.1		3.1
		10 意思決定システムを整備しているか	3.3		
	情報システム	11 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.0		3.0
III 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8	3.5	3.8
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8		
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8		3.5
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.4		
		16 キャリア教育を実施しているか	3.0		
		17 授業評価を実施しているか	3.6		
	成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8		3.4
		19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.0		
	資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.8		3.7
		21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.7		
	教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.6		3.5
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.2		
		24 教員の組織体制を整備しているか	3.5		
IV 学修成果	就職率	25 就職率の向上が図られているか	3.8	3.6	3.8
	資格・免許の取得率	26 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8		3.8
	卒業生の社会的評価	27 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.2		3.2
V 学生支援	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.5	3.3	3.5
	中途退学への対応	29 退学率の低減が図られているか	3.3		3.3
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	3.7		3.7
	学生生活	31 留学生に対する相談体制を整備しているか			
		32 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.5		3.3
		33 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.7		
		34 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.8		
		35 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.0		
	保護者との連携	36 保護者との連携体制を構築しているか	3.2		3.2
	卒業生・社会人	37 卒業生への支援体制を整備しているか	3.0		3.1
		38 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか			
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.3		
VI 教育環境	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.3	3.4	3.3
	学外実習・インターンシップ等	41 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.2		3.2
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.5		3.5
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.5		
VII 学生の募集と受入れ	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.6	3.7	3.7
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.8		
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8		3.7
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.6		
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.7		3.7
VIII 財務	財務基盤	49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.8	3.4	3.3
		50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.4		
	予算・収支計画	51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.1		3.3
		52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.3		
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.3		
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.6		3.6
	財務情報の公開	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.5		3.5
	法令等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.2		3.2
IX 法令等の遵守	個人情報保護	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.4	3.3	3.4
	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.7		3.4
		59 自己評価結果を公表しているか	3.4		
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.3		
	教育情報の公開	61 学校関係者評価結果を公表しているか	3.2		3.1
		62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.1		
X 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0	3.1	3.0
		64 国際交流に取り組んでいるか			
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.2		3.2
総 計(平 均)				3.41	

横浜市病院協会看護専門学校 自己点検・自己評価評価項目

※ 評価規準：不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切4

大項目	中項目	小項目(指標)	R3.02	R2.05	差
I 教育理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像	1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	3.58	3.79	-0.21
		2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合している	3.46	3.63	-0.17
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.38	3.46	-0.08
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.08	3.29	-0.21
II 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.54	3.54	0.00
		6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.42	3.38	0.04
		7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.54	3.50	0.04
		8 学校運営のための組織を整備しているか	3.33	3.50	-0.17
	人事・給与 意思決定システム 情報システム	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.13	3.21	-0.08
		10 意思決定システムを整備しているか	3.25	3.30	-0.05
		11 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.04	2.83	0.21
III 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.75	3.83	-0.08
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.75	3.83	-0.08
		14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.83	3.88	-0.04
	教育方法・評価等	15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.38	3.30	0.07
		16 キャリア教育を実施しているか	3.00	3.13	-0.13
		17 授業評価を実施しているか	3.63	3.78	-0.16
	成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.75	3.87	-0.12
		19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.00	3.23	-0.23
	資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.75	3.88	-0.13
		21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.71	3.83	-0.13
	教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.63	3.42	0.21
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.21	3.58	-0.38
		24 教員の組織体制を整備しているか	3.54	3.63	-0.08
IV 学修成果	就職率	25 就職率の向上が図られているか	3.75	3.67	0.08
		26 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.83	3.75	0.08
	卒業生の社会的評価	27 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.17	2.96	0.21
V 学生支援	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.54	3.71	-0.17
		29 退学率の低減が図られているか	3.25	3.42	-0.17
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	3.71	3.83	-0.13
		31 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.54	3.52	0.02
	学生生活	32 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.71	3.75	-0.04
		33 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.83	3.10	-0.27
		34 課外活動に対する支援体制を整備しているか	2.96	3.45	-0.50
	保護者との	35 保護者との連携体制を構築しているか	3.17	3.50	-0.33
		36 卒業生・社会人	3.00	3.21	-0.21
	卒業生・社会人	37 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.29	3.38	-0.08
		38 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.29	3.38	-0.08
VI 教育環境	施設・設備	39 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.25	3.21	0.04
		40 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.17	3.55	-0.38
	防災・安全管理	41 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.50	3.63	-0.13
		42 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.50	3.42	0.08
VII 学生の募集と受入れ	学生募集活動	43 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.58	3.71	-0.13
		44 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.75	3.79	-0.04
	入学選考	45 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.75	3.71	0.04
		46 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.58	3.54	0.04
	学納金	47 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.67	3.50	0.17
		48 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.79	3.61	0.18
		49 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.42	3.38	0.04
VIII 財務	財務基盤	50 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.13	3.42	-0.29
		51 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.30	3.21	0.10
	予算・収支計画	52 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.35	3.46	-0.11
		53 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.61	3.50	0.11
	監査	54 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.52	3.39	0.13
		55 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.22	3.58	-0.37
	財務情報の公開	56 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.39	3.46	-0.07
IX 法令等の遵守	個人情報保護	57 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.65	3.61	0.04
		58 自己評価結果を公表しているか	3.43	3.43	0.00
	学校評価	59 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.30	3.09	0.22
		60 学校関係者評価結果を公表しているか	3.17	2.96	0.22
	教育情報の公開	61 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.09	3.43	-0.35
		62 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.96	3.00	-0.04
	社会貢献・地域貢献	63 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.22	3.33	-0.12
合 計			3.4	3.5	-0.1

自己点検・自己評価評価項目について

令和3年度

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
Ⅰ 教育理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像	1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	理念等の明文化、周知、社会の要請に合わせて見直し、実現のための目標・計画の策定、課程の設置／専門分野の特性が明確	・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化。 ・学校説明会、入学時、始業時等で周知を図る。
		2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	医療業界が求める人材(知識・技術・人間性等)の明確化／医療業界との協力関係がある(実習、採用等)	・医療業界である、市内105病院が会員となってる法人が設置・運営。 ・育てたい学生像を明確化し、科目を設定。 ・実習も含め、医療関係機関等の協力により実施。
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	特色ある教育活動、実践教育の実施	・理念等の達成に向けた科目の設定。 ・プロジェクト学習・ラベルワークなどの教育方法の採用。
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	中期的(3～5年)将来構想の策定／教職員、学生、保護者等への周知	・設立当初から教育理念・教育目標を設定。 ・毎年度、事業計画を策定し周知を図る。
Ⅱ 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	運営方針の策定／教職員等への周知	・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で周知。
	事業計画	6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	単年度、中期的事業計画の策定／進捗管理、見直し時期等明確化	・毎年度、事業計画を策定し周知を図る。
	運営組織	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会、評議会の開催及び議事録の作成	・毎月理事会、常任委員会を開催し、議事録を作成。
		8 学校運営のための組織を整備しているか	事務・教学組織の整備／会議、委員会の設置・開催／規則、規程の整備	・規則規程により、毎月学校運営会議、職員会議、管理会議を開催するとともに、議事録を作成。
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用に関する規程／採用時の広報／給与、昇任・昇級の規定／人事考課の実施	・令和2年1月に就業規則の改定。 ・令和元年度からMBOを導入。 ・給与規則の改定に向け検討中。
	意思決定システム	10 意思決定システムを整備しているか	教務、財務等の業務処理において、意思決定システムの整備と権限の明確化	・教務は、会議等により情報の共有と意思決定を実施。 ・財務は規則を備え、決裁による意思決定を実施。
	情報システム	11 情報システム化に取り組む、業務の効率化を図っているか	学生への情報提供システム／タイムリーな情報提供／システム管理の実施	・ゲーグルクラスルーム、SNS、ホームページにより情報提供。
Ⅲ 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程の編成方針、実施方針の明文化	・看護専門職と看護教育の考え方を明文化 ・教育課程の編成方針、実施方針をカリキュラムポリシーとして明文化。
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科毎の教育到達レベルの明示／資格取得への指導・支援体制	・育てたい卒業生像、教育目標を設定。 ・年間目標、学年目標を提示し、中間、年度末に自己評価を実施。 ・国家資格取得のための指導を充実。
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成体制、編成過程の明確化／専門科目、一般科目の適正配分／授業時間・単位数の明確化／授業科目の目標にあった授業内容、方法、教材の工夫／シラバスの作成、見直し	・規則、ガイドラインに沿って基礎・専門分野ごとに科目を配分。 ・科目シラバスに授業時間、単位、学習目標、授業内容、テキスト等を明記。 ・看護に必要な能力育成への学習、演習等の取組。
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	教育課程の編成、改定における、在校生・卒業生・就職先・関連業界からの意見聴取等	・県看護師等養成機関連絡会や日本看護学校協議会での情報収集。 ・卒業生アンケート調査や同窓会時における意見聴取。
		16 キャリア教育を実施しているか	方針を定めているか／教育内容・教育方法・教材等の工夫	・学生に進路ガイダンスを行い、キャリアアップの仕方を説明。 ・「ようこそ先輩」を開催。
		17 授業評価を実施しているか	学生へのアンケートの実施及び教育へのフィードバック	・平成22年度から学生アンケートを実施し、結果をフィードバック。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
	成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準の明確化／学生へ基準の明示／基準の客観性の確保	・学則、規程に明記。 ・会議により単位認定、成績結果を協議。
		19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の技術向上状況の把握	・実習終了後、学内で報告会を実施。 ・専門分野、統合分野の科目で技術の習得状況を把握。
	資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	国家資格取得への取組	・目標として、国家資格取得を明記。 ・国家試験対策講座を各学年で開設。
		21 資格・免許取得の指導体制はあるか	不合格者及び卒業後の指導	・国家資格取得に向けて、模試も含め支援を実施。 ・不合格者へ卒業後も支援を継続。
	教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員の能力・資質・資格の明確化／教員のレベルの適合性／人材確保の関連業界との連携／教員の採用計画・配置計画／教員一人当たりの授業時間・学生数の把握	・全員資格取得及び研修修了者。 ・教員配置数は、県の指導により、配置基準を超えた人数を配置。 ・採用について就業規則に規定。
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	教員の専門性、教授力の把握・評価／研修、研究への取組／自己啓発等のキャリア開発	・専任教員18名中、学士8名、准学士1名、修士課程修了1名を配置。 ・学校経費にて、学会・研修会への参加を支援。
		24 教員の組織体制を整備しているか	分野ごとの教員体制の確保／学科毎の教員間の連携・協力体制／改善の組織的な取組	・学校長以下の組織体制のもと、各専任教員がクラス及び業務を分担。 ・組織体制における業務分掌を規定。
Ⅳ学修成果	就職率	25 就職率の向上が図られているか	就職率の目標設定／就職率等のデータ管理	・毎年9割以上の就職率を達成。 ・就職実績は公表。
	資格・免許の取得率	26 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家資格取得の目標設定／合格実績・全国水準との比較	・国家資格取得率は100%を目標。 ・昨年度卒業生は、98.5%の合格率で全国平均を上回る。
	卒業生の社会的評価	27 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の実態把握	・卒業後3年間の動向調査を実施。 ・「卒業生アンケート」の実施。
Ⅴ学生支援	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	組織的就職支援体制の整備／就職状況の学内共有／関連業界との連携／就職説明会や相談の実施	・進路ガイダンスの実施。 ・個別の相談、助言、指導を実施。 ・「卒業生実態調査」において、教職員の就職活動支援は好評。 ・会員病院からの就職に向けた情報カードを収集し、学生に提供。
	中途退学への対応	29 退学率の低減が図られているか	退学者数の把握／指導過程記録の保管／指導・相談の実施	・退学率は、2.1%(昨年4.3%)。 ・個別の相談、指導の実施。
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置／相談室の設置／学生への周知／相談記録の保管	・学校カウンセラーを配置し、相談を実施。 ・専用の相談室を設置。
		31 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生への相談対象教員の配置／留学生への相談・指導・記録の管理	
	学生生活	32 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学校独自の奨学金／学費の減免・分割納付制度／支援制度の学生、保護者への周知	・本校独自の奨学金制度あり。(横浜市病院協会奨学金・修学生生活資金制度) ・高等教育の修学支援新制度認定校。(継続申請) ・他奨学制度についても対応。 ・専門実践教育訓練校として指定。(～R4.9.30 継続申請)
		33 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健計画の策定／学校医の専任／健診の実施／心身健康相談の専任職員の配置	・年間計画に基づく、定期健康診断、感染症対策の実施。
		34 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の確保／ニーズの把握	・横浜市病院協会奨学金への当該病院寮の利用。 ・横浜市立脳卒中・神経脊椎センター職員宿舎が利用可能。
		35 課外活動に対する支援体制を整備しているか	クラブ活動等の団体の活動状況の把握	・ボランティア部、茶道部、バトミントン部、フットサル部が顧問の指導のもと活動。(2年度はコロナ禍のため活動中止)

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
(V) 学生支援	保護者との連携	36 保護者との連携体制を構築しているか	保護者会の開催及び情報提供／緊急時の連絡体制の確保	・学校後援会を組織し、保護者との連携、協力を実施。 ・保護者会開催及び個別相談の実施。(2年度はコロナ禍のため活動中止) ・緊急時連絡は、学生カード、一覧表で管理。
	卒業生・社会人	37 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会の組織化／再就職、卒後のキャリアアップの相談・支援	・同窓会活動を実施。 ・毎年特別講演を同窓会と協賛で開催。
		38 進学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	再教育プログラムの共同開発	
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者への入学時、在学中への配慮	・社会人に向けた特別入試を実施。 ・図書室、実習室等の利用時間を拡大して対応。 ・専門実践教育訓練校として指定。
VI 教育環境	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設、設備、機器等の適法性と充実度／図書室、実習室の整備／休憩室等の確保／バリアフリー対応	・設置基準に適合して整備。 ・図書室、休憩室(学生ホール)を設置。 ・図書は、毎年希望調査を行い配架。 ・情報科学室のPCは、2017年度更新。 ・基本的にバリアフリー対応で整備。
	学外実習・インターンシップ等	41 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の位置づけの明確化／実習指導機関の指導者との連携	・学外実習は教育計画に基づいて実施。 ・実習機関と連絡・協議の機会を確保。 ・インターンシップに対応。
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災の組織化及び訓練の実施／消防設備及び保守点検の適法性	・設備及び訓練の実施等により適法。 ・防災の組織化、マニュアルの整備、防災用備品、備蓄の確保、保管。
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校安全計画の策定／学習時の安全対策マニュアル等の作成及び運用	・看護学生補償制度「Will」に加入。
VII 学生の募集と受入れ	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	高等学校等への情報提供及び入学説明会の実施／学校案内の作成及び周知	・「学校案内」「学生募集要項」を作成し、学校説明会及び学校訪問を実施。
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	募集活動の実施／志望者等からの相談対応／オープンキャンパスの実施／入試の適正な時期での実施	・オープンキャンパス・学校説明会(2回)、学校説明会(3回)、オンライン説明会(3回)の開催。 ・学校訪問の実施。
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準の規定等での明確化／入学選考の公正性を確保する体制の整備	・構造化面接と面接時間の均一化を図っている。 ・選考は、幹部職員による委員会で行う。
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	応募者、受験者、合格者、辞退者等のデータの蓄積／入学者予測数値の算出	・合格率、辞退率等を分析し、試験の実施内容に反映。 ・毎年、入学者予想を算出。
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金の算定内容と決定過程の明確化／水準の把握	・学納金は、公表し、設立経過から安価。 ・事業報告、決算報告を協会ホームページにて公表。
		49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	入学辞退者への授業料の返還及び募集要項等への明示	・入学金について、返納しない旨を募集要項に記載。
VIII 財務	財務基盤	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	収支バランス／マイナスの場合の原因把握と解消の計画の策定	・公的補助による運営。 ・入学者数は定員数を確保。
		51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	過去3年間の財務分析の実施／教育研究比率、人件費率の分析／適切なコスト管理	・過去の財務状況を踏まえ、予算、決算を作成し、公表。 ・令和元年度、借入金の完済。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
	予算・収支計画	52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成と事業計画等との整合性	・毎年度、事業計画とともに予算を編成。
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	予算執行計画の策定／予算と決算の整合性／予算規程、経理規程の整備	・毎年度、法人、横浜市による監査の実施。 ・会計規則により適正に運用。
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	監査の実施及び理事会への報告／監査法人による外部監査の実施	・毎年度、法人、横浜市による監査の実施。 ・法人会計指導を会計法人に委託。
	財務情報の公開	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程の整備／財務帳票、事業報告書の作成、公開	・協会ホームページにて事業報告、決算報告を公開。
IX 法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	適法な設置及び学校運営／規則、規程の整備／セクシャルハラスメント防止対策の実施／コンプライアンスの相談体制の整備	・学校運営のため学則及び規程を整備。 ・令和2年1月改正の就業規則第21条にハラスメントを、第12章に内部通報者の保護等を規定。
	個人情報保護	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護の規定の作成及び運用／個人情報漏えい防止策の実施	・令和2年1月改正の就業規則第17・18条に規定。 ・個人情報に関する規程をあらたに策定。
	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	関連する規程等の整備／自己評価の定期的全学での取組／結果を踏まえた学校改善への取組	・学校評価委員会に関する規程・実施要綱を平成28年度に制定。 ・平成16～18年に、委員会発足、アンケート実施、報告書2回発行。 ・平成23年度から、学校評価委員会を7～8回開催し、自己点検・自己評価等を実施。
		59 自己評価結果を公表しているか	報告書の作成／ホームページ等での公表	・学校評価報告書(平成25・29年)を作成し、関連施設等へ提供。
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の規定等の整備／組織化／委員の適切選任	・外部委員を含めた学校関係者評価委員会を開催。
	教育情報の公開	61 学校関係者評価結果を公表しているか	評価結果の取りまとめ／ホームページ等での公表	・外部委員を含めた学校関係者評価委員会を開催し、報告書をホームページで公表。
		62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報公開	・「学校案内」「学生募集要項」「年報」を作成し公開。学校説明会及び学校訪問等で活用。 ・ホームページを改正に向け検討中。
X 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	産・学・行政・地域等との連携／学校資源の提供／地域への講座等の実施	・区役所、福祉施設等の事業に学生がボランティア等として参加。 ・令和元年度、施設を地域開放して、25周年記念事業を開催。 ・市民参加可能な、20周年記念特別講演会を開催。 ・令和2年度区社会福祉協議会に加入し、区内活動団体との連携を強化。
		64 国際交流に取り組んでいるか	国際交流推進に関する方針の策定／海外教育機関との交流／留学生の受入	
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動等の社会活動の推進／ボランティア活動等の把握、学内での共有	・区役所、福祉施設等の事業に学生がボランティアとして参加。 ・部活動として、ボランティア部が活動。

横浜市病院協会看護専門学校
新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

1 令和3年度の取組み

(1) 入学式について

・4月9日(金)に1年生及び学校関係者のみで開催しました。

(2) 学生の健康管理について

- ・「健康チェック表」により、毎日健康状態を記録しています。
- ・登校時、1階ロビーにおいて、「健康チェック表」により健康状態を確認します。熱等が37.5℃以上の場合や症状がある場合は帰宅し、主治医の受診を指示します。
- ・ワクチンについては、希望する学生(約9割)は7月末までに2回の接種を終了しました。
- ・これまでに数名の感染者が出ていますが、学校内での感染は確認できていません。

(3) 授業について

- ・授業は、1年生と2年生と同時刻、3年生は30分遅くしての時差授業時間で行っています。また、夏休み明けの8月末から10月末まで、学生も在宅でのオンライン授業を実施しています。
- ・授業場所は、年度始めは、通常教室も利用しましたが、3密を避けるために、体育館、視聴覚室、合同教室も活用しています。
- ・手洗い、マスク着用の徹底と、席はソーシャルディスタンスを確保しています。
- ・授業終了後、機材も含め教室内の消毒を行っています。

(4) 臨地実習について

- ・病院施設の状況によりますが、今年度は、一部の病院施設で半日単位の実習など、病院等のご協力をいただきながら可能な限り行っています。
 - ・臨地実習を実施する場合は、学生に、実習に参加するための心得を、ガイダンス等で徹底しています。特に、健康チェックの確認や、1か月前からのアルバイトの中止、集会やイベント類への参加、不要不急の外出の自粛を指示しています。
- また、実習先での行動(特に昼食時においては、マスクを外している時は話さず、話す場合は必ずマスクを着用するなど)について指導を行っています。

(5) インターネット環境について

- ・学生のインターネット環境の調査を実施しました。
- ・クラスミーティングを活用した情報共有を全学年で行っています。
- ・zoom または meet でオンライン授業を実施しています。特に、8月末から10月末までの間は、多くの授業をオンラインにより実施しました。なお、学校での受講希望の学生には、校内での受講を可能にしています。

2 学校の取組み

(1) 緊急時における連絡体制について

緊急連絡網を整備しています。また、業務用携帯を教務課長が所持し、緊急連絡が必要と判断する学生と連絡を行える体制を確保しています。

(2) 「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」について

本校の運営管理に合わせた、マニュアルを独自に作成しています。現在は、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」(2020.9.3 Ver.4 文部科学省)」をもとに改定したマニュアルとなっています。その後に配信されている多くの通知に対応した改正はこれから行います。

令和3年度「第1回学校運営会議」記録

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、文書による会議としました。議題に関するご意見を伺い、記録とさせていただきました。

開催日時：令和3年10月

出席：委員 佐々木 晶世（横浜市立大学医学部看護学科講師）

鈴木 美智子（横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター看護部長）

伴 真理子（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院看護部長）

川上 純子（横浜栄共済病院看護部長）

高橋 幸男（横浜市医療局地域医療整備担当課長）

事務局 細川 治学校長、池島 秀明副学校長、石川 崇子副学校長、

和智 幸江教務課長、岡ノ谷雅之事務部長、佐藤ひづる事務係長

各報告事項について

1 自己評価報告書について

・自己評価・自己点検が公表されていることは素晴らしいと思います。また、評価として3、4ポイントという高得点は、様々なことへの取り組みが評価につながっており、国家試験合格率98%は非常に高得点であったと思います。

・評価結果ごとに考察がなされ、低い値の部分を課題と認識し、検討過程がよくわかりました。低得点項目をこれからのカリキュラム改正を機に目標の見直しがされると記載されており、具体的な見直しの内容は次年度としても、PDCAサイクルの活用が学校運営に生かされていると思いました。

・このような自己点検や評価を行うことで、制約の中での看護協会は看護師教育の4年制化を検討しています。その中で、3年間でどのような看護師教育を目指すのか、アウトカムを明確に示し、学生に無理なく教育し、社会貢献できる人材育成を目指すことを教育現場と臨床現場で共有することが必要であると考えています。

・昨年度評価からの課題への取り組みが理解できました。

・適正な運営と評価が実施されていると思います。

・コロナ禍で制限されたことは多くありますが、コロナ禍で知恵を絞りながら、大きな変化も多くあると思います。それらが強みであり、そこを変化と発展させることが重要であると思います。

・新カリキュラムを開始するにあたっての準備とコロナ対応との両立に関して、今年度は繁忙をきわめたと思います。

・コロナ禍で対外的な活動が制限されることは、今後も考えられますが、状況に応じ、実際の活動が可能となった際の準備を進める等、対応していることがわかりました。

・実習先確保に関しては他校も同様の課題があると思います。時間や日数の短縮や、関われるケアが減っても、実習の場での経験は貴重なので、実習先との調整や実習方法の工夫は今後にも必要になると思います。（教員と臨地実習指導者の事前打ち合わせ、実習時間外での学びの振り返り内容など）

・社会貢献が難しかった状況については、若者が感染を広げる等の報道が一時期多かったこともあり、特に高齢者や子育て世帯が学生と交流することに抵抗があったように感じています。

・WEB研修ではグループワークも可能ですし、海外の講師を招聘した研修も可能です。

・オンライン授業を進めることができたとのことで、今後の感染状況をみながら対面かオンラインかを選択できる環境は良いと思います。

・学校運営についてはコロナ禍の学習環境や今後に向けて、県の補助金を受けて情報システム化を整備されたことは評価できると思います(どこを今年度整備されたかが記載されるとより内容がわかると思いました)。

・学生支援については、退学者が昨年より半減したことは実習や対面が減ったことによる影響(ストレス↓)が大きかったのでしょうか。興味深く感じました。

・学生の募集と受入については、受験倍率も2倍と評価点も高く大学との競合のなかで魅力ある運営をされている成果だと感じました。

2 今年度の新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

・集団で行動する学校運営において、感染対策は大変だと思いますが、内容を確認させて頂き、適切な対策を実施されたと思います。

・若い世代は何を報告・相談していくかの判断が不十分なことも多いので、指導はご苦労されたと思います。

・新型コロナウイルス対応は、看護学校で最大限取り組みがされていると思います。その結果として、学校でのクラスター発生がなかったことだと思います。

・隣地実習では制約の中、代替え実習や学生の健康観察、実習中の心得を指導され現実的で安全な取り組みがされていたと思います。

・アルバイト等の中止を指導している点、課外活動を中止している点については感染拡大防止という視点では良いと思います。ただ、学生生活の質という点からは難しい判断があるかと思います。

・WEBを活用した授業も試行錯誤の中で実践されたものと思います。

・臨床現場でも、集合研修からすべてOJTに変更し、WEB研修を活用しました。今後も看護職の研修方法はこのように変更されることが予測されます。学生の段階で経験することは、臨床現場での適応にも影響されることであると思います。

・国家試験合格率などを見ますと適切な教育ができていたと思います。

・今後は長引いた自粛生活と人との関わりの希薄さから、学生や看護職員の中長期的なメンタルヘルスへの影響も懸念されています。働く職員と学生のメンタルヘルスへの対応について検討が必要であると考えます。

・今後も新型コロナウイルスに対する感染拡大防止対策は継続されますが、感染拡大状況に応じて、対策も段階的に変えることで、メリハリをつけ、緩めてはいけないうところが緩まないように継続する工夫が必要と考えます。

3 令和3年度入学試験及び入学結果について

- ・学校説明会にて、コロナ禍で、看護師が(よくもわるくも)さらに注目されていると思いますので、コロナだけではない看護師の仕事内容ややりがいなどを学生に伝えられると良いかと思いました。
- ・また、看護師の勉強内容の量の多さ、質の高さを認識しないまま入学する学生の話了他校でも聞きますので、看護師の仕事内容とのための勉強という流れが良いイメージで高校生や看護学校入学希望者に伝えることが大事だと思います。
- ・オンラインを駆使した説明会が開催され結果として、昨年度は入学試験者の増加の結果がありました。学生にとっても簡単にWEBにアクセスし様々な学校説明会に参加できると思います。反対にオンラインのみで入学した場合のリアリティ・ショックなどはなかったのでしょうか。臨床現場では戸惑いがあったのも事実であり、オンライン説明会の内容の工夫などは必至といえるのではないかと思います。
- ・対面やオンラインの学校説明会や個別説明も回数も多く、応募者確保にむけて積極的に活動されていると思います。
- ・コロナ禍で応募者を確保するにおいては、当院でもそうですが実際にイメージできるようなWEBの視覚材料をHPなどでも増やしています。ネット社会になっているのでそういうコンテンツを充実させることも間口を広げる一つだと考えます。
- ・少子化のなかで看護師になる人を確保していくには、学校訪問など地道なアピールが大切だとも思います。

4 その他

- ・自施設の点検と評価について課題発見され今後につながる内容が記入されていました。これらの学生の状況を理解したうえで、臨床現場では看護職員として受け入れていく参考になりました。
- ・定期的に教育現場と臨床現場の意見交換や連携は重要であると再認識いたしました。
- ・看護ユニフィケーションとして、教育現場と臨床現場の人材が、行き来し合う機会が増え連携体制が強化できれば、学生実習の充実もより図られると思います。横浜市内でも取り組んでいるところもありますが、実際は、人員が余裕がないと難しいことも実感していますが、教育や看護の課題に協働して取り組めることが地域の看護の質の向上につながると希望的に考えています。

令和3年度第2回学校運営会議(外部委員会)は、令和4年2月10日(木)に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス第6波の感染拡大のため中止とさせていただきました。
そのため、年度末に令和4年度の入学者等をご報告しました。

令和3年度 第2回学校運営会議(外部委員)次第

日時：令和4年3月
実施方法：書面による開催

1 報 告

令和4年度入学者 学校訪問・学校説明会等、入学試験状況について

・・・・・・資料1

2 その他

令和4年度入学者 学校訪問・学校説明会等、入学試験状況について

1 学校募集要項等の送付について

送付先	県内高校	県外高校	県内大学	予備校等	病院、施設等	計
件数	127校	22校	25校	28校	251か所	453

2 学校訪問の実施について

訪問先	指定校	指定校以外	計
3年度	19校	5校	22校
2年度	22校	4校	26校

3 学校説明会&オープンキャンパス等の実施について

(1) 学校説明会&オープンキャンパス

※ () は令和2年度実績

(人)

回数	開催日時	参加者数	高校生	大学生	社会人	保護者
1	6月26日(土) 午前10時～	64 —	28 —	0 —	19 —	17 —
2	7月31日(土) 午前10時～	67 (52)	34 (19)	1 (1)	8 (16)	24 (16)
3	7月31日(土) 午後1時30分～	59 (61)	25 (28)	1 (0)	10 (8)	23 (25)
4	8月28日(土) 午前10時～	オンライン説明会に変更				
		(33)	(18)	(0)	(8)	(7)
5	10月2日(土) 午前10時～	36 (41)	17 (15)	3 (0)	12 (12)	4 (14)
6	10月30日(土) 午前10時～	25 (23)	8 (8)	2 (0)	6 (8)	9 (7)
個別	8月25日(水)～ (7月31日(金)～)	30 (70)	9 (23)	0 (2)	17 (32)	4 (13)
計		281 (280)	121 (111)	7 (3)	72 (84)	81 (82)

(2) オンライン学校説明会

(人)

回数	開催日時	参加者数
1	7月16日(金) 午後6時30分～	12 (19)
2	8月20日(金) 午後6時30分～	20
3	8月28日(土) 午前10時～	47
4	9月17日(金) 午後6時30分～	19 (27)
5	10月15日(金) 午後6時30分～	11 (27)
6	11月19日(金) 午後6時30分～	11
計		120 (73)

※ 緊急事態宣言下のためオンラインで実施。

【裏面に続く】

※ () は令和2年度実績

4 入学試験状況について

(1) 特別入学試験

(人)

試 験 日			高校生(指定)	高校生(学校)	学士	社会人
11月6日 (土)	出願者数	83	20	17	5	41
	受 験 者	75	20	17	4	34
	入学予定者数	58	20	16	3	19
R2年度	出願者数	129	29	33	2	65
	入学者数	57	29	16	1	11

(2) 一般入学試験 I 期

(人)

試 験 日		人 数
12月4日 (土)	出願者数	45
	受 験 者	35
	入学予定者数	17
R2年度	出願者数	56
	受験者数	51
	入学者数	24

(3) 一般入学試験 II 期

(人)

試 験 日		人 数
4年2月5日 (土)	出願者数	16
	受 験 者	12
	入学予定者数	7
R2年度	出願者数	
	受験者数	
	入学者数	

※ 令和4年度の入学予定者 82人